

国民の森林・国有林

広報

か な ぎ

津軽森林管理署 金木支署

No 182

2005.9.30

森と湖に親しむ集い

毎年、五所川原県土整備事務所と共催で行っている、森と湖に親しむ旬間行事を、9月22日、五所川原市の飯詰ダムにおいて開催しました。この行事は、旬間期間である夏休み中に行っていますが、今年は、飯詰小学校の全校遠足に合わせて、この時期に開催したものです。

1年生から6年生までの96名の生徒達は、県土整備事務所が担当した「クイズ大会」や、当支署が担当した「丸太切り」、「カエデの実づくり」に全員が挑戦しましたが、初めて鋸を持った低学年の生徒達は、丸太切りに悪戦苦闘していました。

昼食を食べ終える頃には、予報どおり、ポツリポツリと雨が降り始めたため、足早に撤収となりましたが、クイズ大会ではダムや水の勉強を、丸太切りでは、山には色々な種類の木があることを肌で感じ、カエデの実作りでは、木の種にも様々な形があることを実感してもらえたものと思っています。



丸太切りに挑戦する子供たち

スローガン **健康が私の誇りと自信です 予測と予防で健康リレー**

労働衛生週間

準備期間 9月 1日 から 9月 30日
労働衛生週間 10月 1日 から 10月 7日

平成17年度国有林野事業労働衛生週間が実施されます。当支署では、総括安全衛生管理者及び管理医による現場巡回指導、救急体制の整備等を実施することにより、より一層、職員の健康の保持増進を図ります。

屏風山に関する森林環境教育資料が完成 ～ 地域発案システム

2005年7月1日付けの小紙で紹介していましたが、小・中学生用の屏風山に関する森林環境教育資料、「語り継ごう、屏風山の森林を!!」(CD版)がこの8月、完成しました。

内容は、「先人達の苦勞」「海岸林の価値」「国有林における治山事業」「海岸林の保護と管理」「海岸林の動物・植物」の5つの項目からなっており、屏風山造成の歴史や農産物から見た海岸林の価値、治山事業の歴史など、約1時間にわたるスライドになっています。

この資料は、日本海からの西風や飛砂に悩まされてきた地元の歴史を知ることにより、将来とも、屏風山の森林への関心が薄れることの無いように作成したものです。

作成に当たっては、県立五所川原農林高校が研究している、屏風山の動物・植物に関する写真・資料を提供してもらったなど、各方面から協力を頂きました。

11月には、地元の館岡中学校の生徒を対象に、上映会を行うとともに、治山事業の現場、ゴミの不法投棄現場を見学することとしています。また、今後は、つがる市内の他の小・中学校にもCDを配布したいと考えています。

このことを通じて、治山事業への理解の増進や、ゴミの不法投棄防止などの森林管理に対する地元の盛り上がり期待しているところです。



屏風山の歴史等を収録したCD

(株)高橋林業土木&木もく倶楽部

市浦森林事務所管内の(株)高橋林業土木は、所有する森林(名称を「十三湊(とさみなと)憩いの森」)約50haを、市民や子供たちの森林体験の場として活用してもらうことを目的に、東京のNPO法人「木もく倶楽部」の協力で整備を進めています。

8月18日、木もく倶楽部の「木もく緑の少年団」に所属する小中学生10人が、東京から夜行バスで出発、19日午後、高橋林業土木に到着しました。

22日までの滞在中は、毎朝6時30分の起床から、夜9時頃の消灯まで細かな予定が組み込まれていますが、少年団員は疲れも見せずに行動していました。主な活動として、地元の小学生と植樹祭を行いコナラ、カシワを約100本植栽したほか、木材工場の見学、炭焼き体験、シジミ採りなどの地場産業体験、地元の緑の少年団と交流会、青森ヒバの林内散策、白神山地トレッキングなどなど、多くのことがらを学び、体験しました。

全ての日程を終えた団員の皆さんは、22日、沢山の思い出を胸に、現地を後にしたということです。

(市浦森林事務所、山形首席森林官から情報提供がありました。)



(上)木もく緑の少年団と地元緑の少年団記念写真

(右)雨の中植樹



私の守備範囲

- こんなところです -

中里森林事務所

上席森林官 荒谷 良博

津軽鉄道に鈴虫列車が走る頃、山はもう紅葉のシーズンを迎え、実りの秋本番です。

さて、管内に「ふるさと林道」が南北12kmにわたり開設し、地域の林業等に活用されるとともに、その林道の中間に整備された親水公園「滝の沢ふるさと砂防愛ランド」は、地元のレク等に利用されています。この施設では、5月中旬、地元小学校児童達によりホタル幼虫の放流が行われ、夏の夜にホタルが飛び交う光景が毎年見られます。

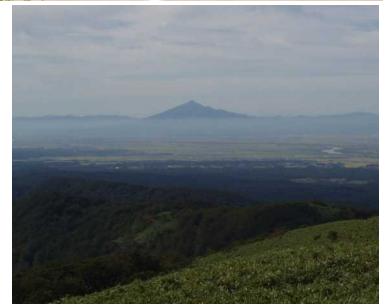
施設を含む周辺に、津軽中里自然観察教育林が設定されており、その中には不動の滝(局広報No17、「ここが見所」で紹介)があります。その滝まで1.3kmの散策路は美しい紅葉を見せてくれます。

滝からさらに上流には袴腰岳(標高627m)が見られます。管内の秀峰「袴腰岳」には、滝の沢林道終点の登山口から、ブナ林の中を1時間(2.3km)程で登頂することができ、頂上からは今の時期、一面に広がる鮮やかな稲穂の黄金色が俯瞰されます。

袴腰岳頂上から「岩木山」



地域の人々に利用されている休憩所
(ふるさと林道)



8月の公売結果

立木 スギ外皆伐約1,860m³、2カ所を1口として出材、入札枚数は7枚で不落札。

スギ間伐約1,690m³、7カ所を6口として出材、落札は4口、67%、2口は応札無し。

皆伐については県内外へ事前にPRを行いました結果は不落、間伐については全くの人気薄という状況でした。

素材(販売委託)

・9月7日(青森県木材協同組合)

ヒバ丸太28口、約360m³を出材し、落札は19口、68%となっています。

・9月21日(青森県木材協同組合)

ヒバ丸太22口約310m³を出材し、落札は7口、32%となっています。

(9月7日に不落札となった物件を含みます。)